

「たくさんの人に味わってほしい」 メロン・マンゴフェアを実施

5月11日、JAみやざきこばやし地区本部のメロン部会とマンゴー部会で構成する、メロン・マンゴフェア実行委員会（川野隆道委員長）が市内で生産された「めろめろメロン」と「太陽のタマゴ」を市長に贈呈しました。これは、同委員会がイベントのPRやメロン・マンゴーの消費拡大を目的に毎年行っている取り組みです。



川野委員長（写真左）は「天候不良もあったが、生産者の工夫によって今年も糖度の高いおいしいものができた、多くの人に味わってほしい」と話しました

うえぼるとしあき 上原利秋さんを監査委員に選任

5月10日、上原利秋さんを監査委員に選任しました。任期は令和12年までの4年間。監査委員は自治体の財務に関する事務に法令違反がないか、効率的に行われているかなどについて監査し、その結果を広く市民に知らせる重要な役割を担っています。



ほたるまつり開催前に会場周辺を清掃

5月21日、ホタルの生息地環境保護と出の山ほたるまつりを盛り上げることを目的とした清掃活動が出の山公園周辺で行われました。活動には小林まちづくり株式会社や商工会議所、地元業者など約90人が参加。ホタル観賞遊歩道や公園周辺の草刈りなどを行いました。



秀峰高校で国スポ・障スポの授業 大会を通じた地域活性化を考える

4月24日、小林秀峰高校で国スポ・障スポに関する出前授業を開催し、生徒ら約40人が参加しました。授業では市職員が市内開催競技の魅力などについて説明。その後、大会に多くの市民が参加したくなる取り組みや大会を通じた地域活性化についてディスカッションしました。今後は同校とアイデアの実現に向けて継続的に活動します。



生徒らは大会に合わせた市内スタンプラリーの開催や会場への撮影スポットの設置など、高校生ならではの視点を生かしたアイデアを提案していました

AI講座で学んだ知識を生かし 須木小児童が須木のPR活動に挑戦

5月11日、須木小学校でAIアドバイザーのルウ王子を招き、5・6年生を対象にAI講座が行われました。児童たちは、実際にAIを操作しながら、具体的な指示を出すことで、理想の案に近づけていく方法を学習。今後は、AIを活用しながら、須木の特産品を使ったお菓子のレシピ作りに挑戦し、須木のPR活動につなげていきます。



村社香さん（6年）は「今回の授業で、AIは正しく使うのが大切だと改めて感じた。AIを使ったお菓子のレシピ作りも頑張りたい」と話しました

緑いっぱいの地域社会を目指して 宮崎トヨペットが桜の苗木を寄贈

宮崎トヨペット株式会社（百野正剛代表取締役社長）が市に桜の苗木35本を寄贈しました。これは同社が社会貢献活動として展開する「ふれあいグリーンキャンペーン」の一環で行われたもの。4月24日には感謝状贈呈式が行われ、百野代表は「環境負荷の軽減と、緑いっぱいの潤いある地域社会づくりに役立てば」と思いを語りました。



同キャンペーンは「人の心に緑の憩いを」をスローガンに、街や人、地球の豊かな未来を願って県内各地へ苗木を贈るグリーンライフ応援活動です

サツマイモの苗植え体験で地域交流

5月12日、三ヶ野山営農組合と野尻原環境保全会主催のサツマイモの苗植えが行われました。これは、地域内の交流や食育の促進を目的に毎年開催しているもので、参加した栗須小学校や栗須保育園、大塚原保育園の子どもたちは、地域住民らと楽しく作業しました。



小牧さんと川畑さんに教育委員を委嘱

5月10日、小牧直美さんと川畑香さんに教育委員を委嘱しました。今後2人は、市の教育に関する方針や重要事項の決定を行う役割を担います。小牧さん（写真左）は「小林市の教育の役に立てるように、これから勉強していきたい」と話しました。



大塚原公園に鯉のぼりが登場 寄贈された100匹が春風に舞う

4月21日、大塚原公園に約100匹の鯉のぼりが飾られました。各家庭で役目を終えた鯉のぼりを集め、同公園で再び泳がせる取り組みとして野尻町商工会青年部の有志と道の駅ゆ〜ぱるのじり（ハーメックのじり株式会社）が昨年共同で取り組んでいるもの。今後は設置場所も含めて、さらなる規模拡大を目指しています。



鯉のぼりは例年5月中旬ごろまで飾られており、期間中は色鮮やかな鯉が公園の斜面いっぱいに広がり、春風に乘って元気に泳ぐ姿を楽しめます

大正時代から続く岡原地区敬老会 節目となる第100回を迎える

4月26日、岡原地区営農研修館で第100回岡原地区敬老会が開催されました。大正13年から続く同会は、コロナ禍による一時中断を乗り越え、節目となる100回目を迎えました。当日は、伝統芸能「岡原田の神踊り」をはじめ、地域の民俗芸能などが披露され、地域住民らは79人のご長寿の方を感謝と敬意を込めて温かくもてなしました。



いまべつおげんさく 今別府健作公民館長は「コロナ禍で続けたが迷った時もあったが続けてきて良かった。記念大会を盛大に開催できてうれしい」と話しました